

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公表番号】特表2008-501263(P2008-501263A)

【公表日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-002

【出願番号】特願2007-513914(P2007-513914)

【国際特許分類】

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/56 1 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月9日(2008.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が、センサ、および、近隣のモートと通信するための無線通信システムを有する、複数のモートと、

前記複数のモートの各々の間に分散した分散経路指定テーブルと、

前記分散経路指定テーブルを周期的に更新するための更新システムと

を含む無線センサ・ネットワーク。

【請求項 2】

前記モートの各々が更に太陽電池を含む、請求項 1 に記載の無線センサ・ネットワーク

。

【請求項 3】

前記通信システムが受動モードおよび能動モードを含み、前記受動モードが送信モートから受信モートにデータをリレーするために利用され、前記能動モードが当該モートによって生成されたデータを送るために利用される、請求項 1 に記載の無線センサ・ネットワーク。

【請求項 4】

少なくとも 1 つのトランスポート・ルータおよびモニタ・ステーションを更に含む、請求項 1 に記載の無線センサ・ネットワーク。

【請求項 5】

各モートは、当該モートが近隣のモートによってネットワークに取込まれること及び他のモートを前記ネットワークに取込むことを可能にする結合及び取込みシステムを更に含む、請求項 1 に記載の無線センサ・ネットワーク。

【請求項 6】

各モートが、当該モートを取込んだ近隣のモートを介したエンドポイントまでの一次パスを保存する、請求項 5 に記載の無線センサ・ネットワーク。

【請求項 7】

各モードが、他の近隣のモートを介したエンドポイントまでの二次パスのセットを識別するためのシステムを更に含む、請求項 6 に記載の無線センサ・ネットワーク。

【請求項 8】

各モートが、前記エンドポイントまでの前記一次パス及び前記二次パスのセットをラン

ク付けする経路指定テーブルを含む、請求項 7 に記載の無線センサ・ネットワーク。

【請求項 9】

各モートが、近隣のモートの伝送基準のセットを分析することによって当該モートの経路指定テーブルを周期的に更新する、請求項 8 に記載の無線センサ・ネットワーク。

【請求項 10】

各々が近隣の装置と通信するための無線通信システムを有する複数の装置を含む無線ネットワークをイネーブルするための方法であって、

各装置からの結合コマンド及びエンドポイントからの取込みコマンドをブロードキャストするステップと、

前記エンドポイントの近くにある装置を前記エンドポイントとネットワークにおいて結合するステップと、

追加の装置を前記ネットワークに結合させるために、前記エンドポイントに結合された各装置からの取込み信号をブロードキャストするステップと、

更なる追加の装置を前記ネットワークに結合させるために、前記ネットワークに結合された各追加の装置からの取込み信号をブロードキャストするステップと

を含む、方法。

【請求項 11】

前記ネットワークに結合するために使用可能な更なる装置がなくなるまで、直前のブロードキャストするステップを繰り返す更なるステップを含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記無線ネットワークが無線センサ・ネットワークを含む、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

各装置が、センサ、および、近隣のモートと通信するための無線通信システムを有するモートである、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記エンドポイントまでの一次パスを各モートに保存する更なるステップを含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

他の近隣のモートと通信しようとすることによって前記エンドポイントまでの二次パスのセットを各モートに識別させる更なるステップを含む、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

各モートに前記一次パスおよび前記二次パスのセットを経路指定テーブルにおいてリンク付けさせる更なるステップを含む、請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

前記近隣のモートの通信基準のセットを分析することによって各モートに自身の経路指定テーブルを周期的に更新させる更なるステップを含む、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

センサ・ネットワークにおいて使用するためのモートであって、

環境データを感知するためのセンサと、

近隣のモートと通信するための通信システムと、

前記モートをモートのネットワークにおいて確立するための結合及び取込みシステムと

、

前記モートからエンドポイントまでのパスのセットをリンク付けする経路指定テーブルと、

前記経路指定テーブルを周期的に更新するための更新システムと

を含む、モート。